

とりいまついせきつうしん
鳥居松遺跡通信

№3

(財) 浜松市文化振興財団・浜松市文化財担当課

2008年2月27日



古代の木簡^{もっかん}が出土しました。

鳥居松遺跡の発掘調査では、奈良時代から平安時代（1250年前～1200年前）の地層から、木簡が出土しました。木簡とは、字が書かれた木の札のことで、当時の生活の様子を具体的に伝える貴重な史料です。

今回の調査では、5枚の木簡が出土しており、古代の地名である「赤坂」などの文字が判読できます。今回出土した木簡には、税として都に納めるための物品に付けられていたものが含まれます。こうした木簡の出土によって、鳥居松遺跡の近辺に税をまとめる古代の役所があったことが分かります。

鳥居松遺跡の東北東、700mには、伊場遺跡があります。鳥居松遺跡における木簡の出土によって、両遺跡は、本来、一連のものであったことが明確になりました。

■ 出土した木簡

（奈良時代～平安時代初め）

木札に字が書かれた古代の行政文書で、当時の生活の様子を具体的に語る貴重な史料です。鳥居松遺跡では、5枚の木簡が出土しています。

人面墨画土器が出土しました。



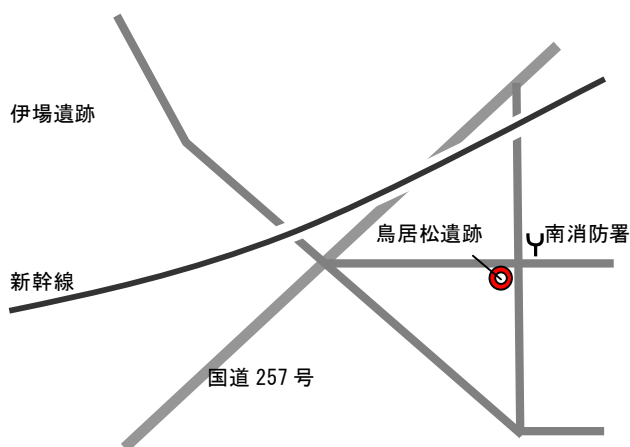
■ 顔が描かれた土器（人面墨画土器） （奈良時代～平安時代初め）

土師器（はじき）と呼ばれる素焼きの土器に、墨で顔の絵が描かれています。祓（はら）いなどの儀式に使われたものと考えられ、古代の小川（伊場大溝）に投げ込まれた状態で出土しました。

現地説明会を開催します。

鳥居松遺跡の発掘調査は、平日の晴天時、午前8時30分から午後4時30分まで実施しています。作業時間内でしたら、発掘現場は見学できます。

また、3月16日（日）には、市民の皆さんを対象にした現地説明会を開催します。午前10時・午後1時30分に調査を担当した職員が、遺跡と出土品について解説いたします。是非、この機会に貴重な地元の歴史に触れてみてください。（雨天決行）



鳥居松遺跡発掘調査事務所
浜松市埋蔵文化財調査事務所

TEL 053-442-0087
TEL 053-485-3465